

基本目標3 環境を守りはぐくむ人づくり



－イメージビジョン－

地域の環境、さらには地球規模の環境をよくするため、世代や職業、地域の枠を越えて、多くの人や団体が連携して活動しています。

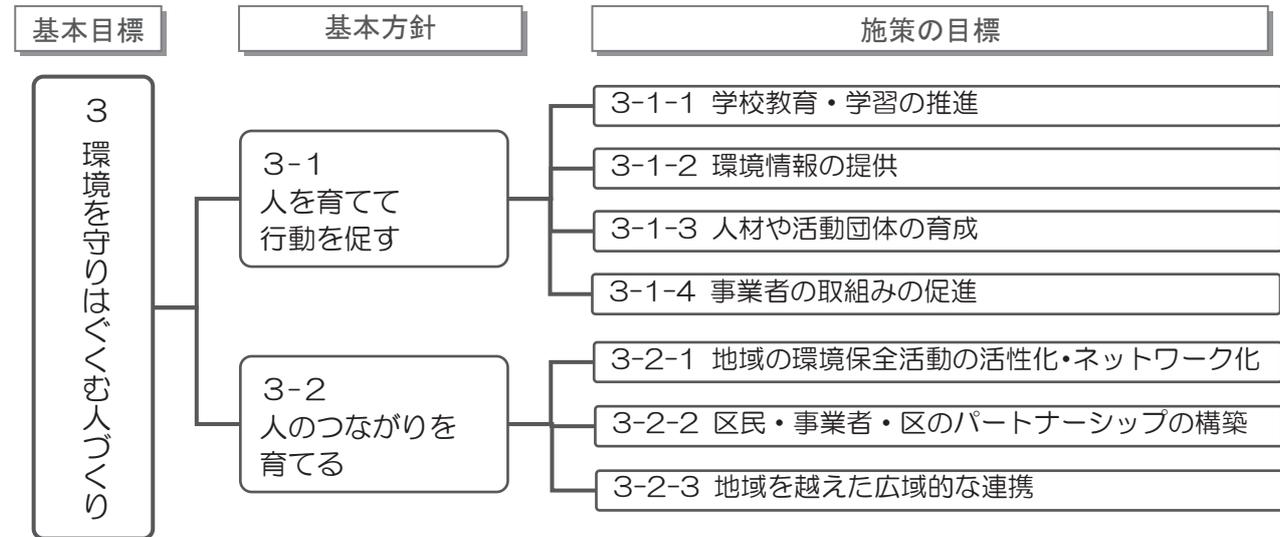
また、子どもたちも、「めぐろ」に愛着をもち、都会にありながら自然とのつきあい方を身につけています。

人々は、環境に与える負荷を十分に認識して、ごく自然に環境保全に取り組んでおり、多様なツールから環境に関する情報を得て、発信しています。

転入した人々も、子どもや地域との関わりの中で、「めぐろ」の環境について学び、環境にやさしい暮らし方を賢く選択しています。

こうした将来像を目標に、環境への気づき、意識改革、行動の変化をもたらす、学習や体験の機会を増やし、日常生活の中で環境に関する情報交換や活動ができる、環境コミュニティを醸成していきます。

また、環境学習等に参加した人々が、地域の環境活動や人材育成に携わっていく仕組みを構築し、区民の環境意識の向上を図ります。



3-1 人を育てて行動を促す

【 実現に向けた考え方 】

環境にやさしいまちをつくるためには、環境保全の大切さや環境問題の現状を知り、日常生活や事業活動において環境に配慮した行動を身につけ、定着させることが重要です。

そこで、環境学習の推進、環境情報の提供により、区民一人ひとりの環境問題に対する関心を高めます。また、積極的に区の環境保全に関わる人材や活動団体を育成し、活躍の場を提供することで、区民の環境意識や参加意欲の向上を図ります。

<指標の評価>

😊: 目標値を達成 😐: 目標値に近づいている 😞: 目標値に近づいていない -: 現状値を把握していない

指標項目 〔環境指標〕 〔取組指標〕	基準 年度	基準年度末 時点実績値	2013 (平成25) 年度末実績値	2021 (平成33)年度 数値目標 (目指す方向)	評価
環境推進員養成講座修了者数 (累計値)	22	63人	124人	263人	😐
環境保全活動参加経験率※1	24	5.8%	6.3%	2012 (平成24)年度 実績+10%	-
環境に関する情報提供の満足度※2	24	11.0%	16.9%	2012 (平成24)年度 実績+10%	-
普及版めぐろグリーンアクション プログラムの参加件数/修了件数	23	144件/3件	600件/19件	増加	😊
区ホームページ※3(もっと知りたい 環境のこと)アクセス数	23	697	407	増加	😞
めぐろグリーンアクションプロ グラム(事業所版)の新規認定件数	22	1件	2件	増加	😊

※1 環境に関するアンケートの問「区で行っている環境保全に関する取組みへの参加経験」に対し、どれかに参加したことがあると答えた人の割合。

※2 環境に関するアンケートの問「環境に関する情報提供の満足度」に対し、満足及びやや満足と答えた人の割合。

※3 <http://www.city.meguro.tokyo.jp/keyword/learn/kankyogakushu/index.html>
トップページ>キーワードから知るめぐろのこと>学ぶ>もっと知りたい環境のこと

【2013(平成25)年度の成果】

- ・ 環境推進員養成講座を開催し、2013(平成25)年度の受講生33人のうち24人が修了生となり、着実に数値目標に向けて増加しています。
- ・ 普及版めぐろグリーンアクションプログラムの参加件数、修了件数は、ともに増加しました。一方、めぐろグリーンアクションプログラム(事業所版)の認定件数は2件で、更新認定件数は18件でした。

3-1-1 環境教育・学習の推進

《区民・事業者全般を対象とした環境学習の推進》

目黒区環境基本計画は2002(平成14)年7月に策定され、2012(平成24)年3月に改定を行ないました。前計画の計画期間が2013(平成25)年度で終了することから、前計画を引き継ぎながら、環境基本計画に示されている環境学習の基本的な考え方に沿って、計画的に環境学習分野の事業の進行管理ができる実行プランとして、「目黒区環境学習推進計画」に代えて「目黒区環境学習実行プラン」に改定し、2014(平成26)年4月から実施しています。

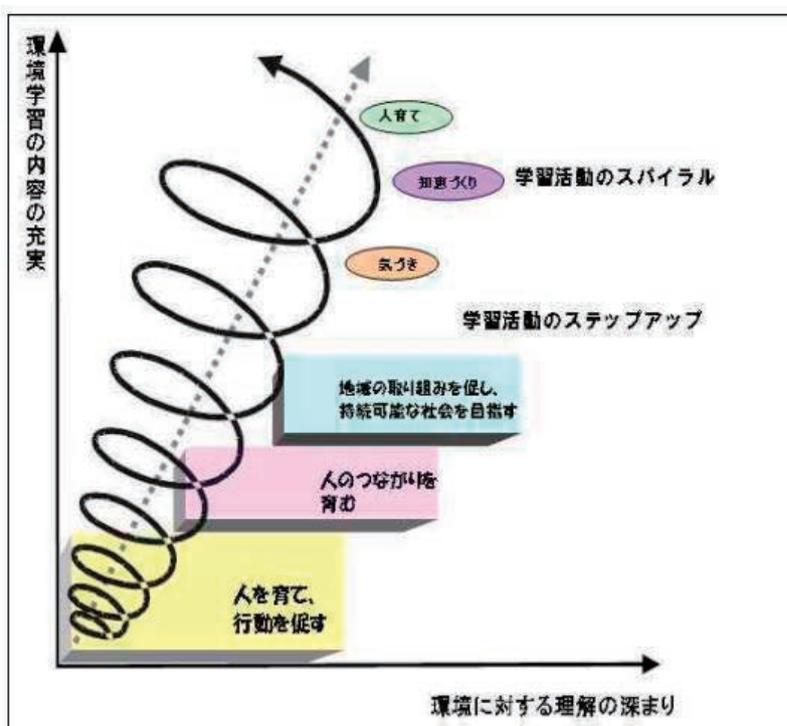
目黒区環境学習実行プランは、区内に在住・在勤・在学・在活する区民・事業者全般を対象に、〈気づき〉〈知恵づくり〉〈人育て〉〈啓発〉の4要素を取組みの柱として、環境活動の担い手や継続的な環境学習活動の輪が広がることを目指しています。

環境教育・学習及び啓発活動の展開にあたっては、型どおりの啓発キャンペーンにとどまらず、内容豊富で質の高い環境活動を実現するために、次のことを推進していきます。環境学習は〈気づき〉を促すことから始め、環境保全の取組み方を身につける〈知恵づくり〉、さらに環境保全活動に積極的に関わる人材をはぐくむ〈人育て〉へと、環境学習への〈啓発〉を積み重

ねることにより、目標を実現していきます。

これにより、らせん（スパイラル）の輪がだんだん大きくなるように（スパイラル式）、繰り返し積み重ねて内容の充実を進め、区民・事業者の理解を深めながら行動を促していきます。

＜スパイラルとステップアップを組み合わせた環境学習の段階的な発展＞



《 環境学習機会の提供 》

自発的な環境活動へのきっかけとして、身近なテーマで大人から子どもまでを対象とした講演会・学習会を開催しました。

また、普及版めぐろグリーンアクションプログラムを普及させることで、世帯単位での環境配慮への取組みを進めました。

＜環境学習の内容と参加人数＞

講座・講習会名	延参加人数
子育てママのエコ入門講座（11回）	親子500人
消費生活講座（2講座）	47人
消費生活展	9,994人
普及版めぐろグリーンアクションプログラム 参加件数/修了件数	600件/19件

《 学校等における環境学習の推進 》

学校における環境学習活動の充実を図るため、学校版めぐろグリーンアクションプログラムを区立小中学校全32校で継続して行っています。

《 自主的な環境学習の支援 》

区では区民等が自主的に行う環境学習や環境活動の支援、学校・町会・地域などの活動で利用できる身近な環境測定機器の貸出しを行っています。測定機器については、騒音計を5回、粉じん簡易測定器を1回貸し出しました。

2013(平成25)年度は、生ごみの堆肥化活動の支援を行いました。利用回数は77回と減少していますが、区民の活動が定着してきました。



＜騒音計＞

《 エコプラザを活用した環境学習 》

環境に配慮した生活を提案するため、身近な体験を通して楽しく学べる、さまざまなテーマの講座・講習会を目黒及び平町のエコプラザにて開催しました。

2013(平成25)年度に開催した講座・講習会は全56講座、延べ1,621人の参加がありました。

この取り組みは、地域の団体、事業者、学校などと協働で企画運営しており、子どもたちの参加が増加しました。

＜環境学習の内容と参加人数＞

講座・講習会名	参加人数/出展数
育てて涼しい「緑のカーテン」	80人
リフォームファッションコンテスト	22作品
修理コツコツ講座	132人
環ナビステップアップ講座	19人
打ち水で夏を涼しく	54人
おもちゃの病院	69件
夏休みエコバッグ作り	36人



＜リフォームファッションコンテスト＞



＜環境紙芝居＞

2014(平成26)年度に実施する主な施策の内容

- ◇ 参加者が取り組みやすく、継続しやすい「普及版めぐろグリーンアクションプログラム」の普及に努めます。
- ◇ 区民等が自主的に行う環境学習・環境活動への支援を行います。
- ◇ エコプラザを活用した、省エネルギーやごみ減量に関する講座・講習会を開催するとともに、活動室等を活用して、活動団体が定例で開催するリユース講座や包丁研ぎ講座等のリペア事業の開催を定着させます。
- ◇ 環境啓発・環境測定について、区民が利用できる機器の貸出しを実施します。

3-1-2 環境情報の提供

《 環境情報の一元化 》

2012(平成24)年3月に改定した環境基本計画の体系に基づき、2013(平成25)年度に実施した環境施策の状況及び評価を明らかにした環境報告書(本編・資料編・概要版)を作成し、区の施設で配布したほか区ホームページ²⁰でも公表しました。

また、区ホームページにおける環境情報の充実を図り、積極的な情報提供に努めました。

《 多様な媒体を活用した環境情報の発信力の強化 》

6月の環境月間に、総合庁舎西口ロビーで「節電のコツと緑のカーテンの紹介」パネル展とエコドライブ疑似体験を実施しました。エコプラザ情報室の図書・資料等の整備、エコ商品の紹介、相談業務の実施、展示コーナーを活用した啓発パネルやソーラーパネル等の展示、人力発電機の体験コーナーを設置しました。さらに、エコプラザニュースの発行(計12回)など広報紙の充実を図り、エコプラザの利用促進を図りました。さまざまな機会、媒体を活用して環境情報の発信力を高めていきます。

＜エコプラザ情報室の利用状況＞

利用項目	登録人数 / 利用回数
新規利用登録数	146人
活動室利用件数	676件
図書貸出件数	140件
不用品情報登録件数	311件
不用品のあっせん成立	86件

2014(平成26)年度に実施する主な施策の内容

- ◇ 目黒区環境基本条例に基づき、環境報告書の作成と配布を行います。
- ◇ 環境月間を周知するとともに、一人ひとりが身近な地域環境から考えるきっかけとなるようなパネル展などを実施します。
- ◇ 区ホームページに環境情報の積極的な掲載を行い、情報発信します。
- ◇ エコプラザのPR活動を強化し、利用促進を図ります。

トピックス

目黒区ホームページ「もっと知りたい環境のこと」コーナー

各種環境データ、学べる施設、講座に関する情報を随時更新しています。

WEB

<http://www.city.meguro.tokyo.jp/keyword/learn/kankyogakushu/index.html>

トップページ > キーワードから知るめぐろのこと > 学ぶ > もっと知りたい環境のこと



²⁰ http://www.city.meguro.tokyo.jp/gyosei/tokei/chosa_hokoku/kankyo_hokoku/index.html
 トップページ>行政情報>統計・調査・報告>調査・報告>目黒区環境報告書(めぐろの環境)

3-1-3 人材や活動団体の育成

《 地域の環境配慮活動団体の支援 》

学校や団体からの要請により、テーマに沿った講師を派遣しました。

《 環境推進員等の育成・支援 》

2013(平成25)年度は、「歩いて考える、目黒の環境」をテーマとして、環境推進員養成講座を開催し、環境保全活動のリーダーを育成しました。33人の受講生の中、24人が修了生となりました。また、環境推進員のステップアップ講座を計3回開催し、31人の参加がありました。そのほか、交流会も1回開催しました。



＜環境推進員養成講座＞

2014(平成26)年度に実施する主な施策の内容

- ◇ 小中学校や団体へ環境学習のテーマに沿った講師を派遣します。
- ◇ 環境推進員養成講座を開催し、環境保全活動のリーダーを育成します。また、環境推進員が区や団体等と協力して、地域で活動していくためのステップアップ講座を開催します。
- ◇ 環境推進員が作成する広報誌の支援をします。
- ◇ 地域活動団体・事業者団体に対して、活動の支援を行います。

3-1-4 事業者の取組みの促進

《 環境に配慮した事業活動の促進 》

めぐろグリーンアクションプログラム(事業所版)を推進し、認定会を4回行いました。2013(平成25)年度は新規の認定が2件、更新認定が18件ありました。2013(平成25)年度は申請はありませんでしたが、製造業、建設業、情報通信業及びものづくりにかかわるソフト産業を主たる事業として営む区内中小企業の国際標準規格であるISO9000並びに14000シリーズの取得に対して、費用の一部を助成しています。

＜認定事業者の概要＞

認定事業者名	認定日	取組み内容
本多通信工業株式会社	2013 (平成25)年 10月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・社屋周辺地域の清掃活動の実施 ・裏紙使用、縮小印刷、印刷前のプレビュー確認 ・リサイクル量の把握、分別・確認の徹底 ・車両買替え時に低燃費車(ハイブリッド車)を導入
橋永金属株式会社	2014 (平成26)年 2月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・環境対応商品を積極的に購入 ・スーパークールビズの実施、節電 ・グリーンカーテンの栽培

2014(平成26)年度に実施する主な施策の内容

- ◇ めぐるグリーンアクションプログラム（事業所版）を推進します。
- ◇ 区内中小企業のものづくり事業を営む事業者に対し、国際規格取得支援事業を行います。

トピックス

めぐるグリーンアクションプログラムとは…

今、私たちの周りには地球温暖化を代表として様々な環境問題があります。この問題を解決するには、区、区民、事業者、学校がそれぞれの立場から環境に配慮した活動を行うことが必要です。

区では、家庭や事業所、学校において、地球温暖化防止のために具体的に行動するしくみとして、目黒区独自の環境配慮行動プログラム「めぐるグリーンアクションプログラム」をつくりました。このプログラムには、普及版・事業所版・学校版の3種類があります。

普及版めぐるグリーンアクションプログラム

温暖化対策について、身近にできることからはじめられるプログラムです。チャレンジしたい個人の方は、環境清掃部環境保全課環境情報係まで。

めぐるグリーンアクションプログラム事業所版

「めぐるグリーンアクションプログラム事業所版」は、環境に配慮した行動を行う区内事業者を応援するプログラムです。

チャレンジしたい事業者の方は、環境清掃部環境保全課温暖化対策係まで。

学校版めぐるグリーンアクションプログラム

学校版は、環境教育推進のための一つの手段であり、児童・生徒と教職員が一体となって、学校生活の中で継続的に省エネ・省資源活動や環境学習活動に取り組むためのプログラムです。区立小・中学校の取り組みについては、教育委員会事務局学校運営課学事係まで。

WEB

詳しくは、区のホームページをご覧ください。

http://www.city.meguro.tokyo.jp/kurashi/shizen/mondai/green_ka/

トップページ>くらしのガイド>自然・環境・ごみ>環境保全施策の推進>地域のグリーン化

3-2 人のつながりを育てる

【 実現に向けた考え方 】

区内には、環境保全活動に熱心に取り組んでいる人や団体が多数存在しています。地域の環境保全活動をさらに活性化するため、エコプラザを拠点とした環境配慮活動団体のネットワーク化を図り、環境活動に取り組む人や団体同士の交流や連携を図ります。

また、区民・事業者・区のパートナーシップや他都市との連携により、各主体の協力が必要な取組みや、地域を越えた広域的な環境課題に対する取組みの効果を一層高めめます。

< 指標の評価 >

☺: 目標値を達成 😊: 目標値に近づいている ☹: 目標値に近づいていない —: 現状値を把握していない

指標項目 〔環境指標 取組指標〕	基準 年度	基準年度末 時点実績値	2013 (平成25) 年度末実績値	2021 (平成33)年度 数値目標 (目指す方向)	評価
目黒区立エコプラザ登録団体数	22	8団体	8団体	38団体 (3団体/年)	☹
地球温暖化対策地域協議会開催回数	22	2回	5回	継続的な開催	😊
環境審議会開催回数	22	4回	4回 (小委員会1回) (専門委員会3回)	継続的な開催	😊

【 2013（平成25）年度の成果 】

- ・ 目黒区立エコプラザ登録団体数は、8団体となり、2010(平成22)年度と同じでした。
- ・ 地球温暖化対策地域協議会は5回、環境審議会は4回と継続的に開催しています。

3-2-1 地域の環境保全活動の活性化・ネットワーク化

《 地域の環境保全活動の普及および参加促進 》

2013(平成25)年12月にエコライフめぐろ推進協会と共催で「エコまつり🌱めぐろ2013」を開催しました。参加団体数は44団体、来場者数は約4,500人でした。区も『実践！スマートライフ』というテーマでブースを出展し、啓発を目的としたパネル展示とクイズ、エアロバイクによる発電体験を実施しました。



<エコまつり 展示ブース>



<エコまつり・リフォームファッションショー>

また、地域の環境活動の活性化につなげるため、幅広い環境活動や継続した取組みをしている区民・事業者・団体を顕彰する「エコ・チャレンジ顕彰」は、2001(平成13)年度から開始

し、今までに区民56人、44団体、10事業者の方が受賞しています。2013(平成25)年度は3団体を顕彰しました。顕彰式は降雪により中止となりましたが、個別に顕彰を行い、区報及び区のホームページに掲載しました。

＜被顕彰者の取組み＞

被顕彰者（敬称略）	顕彰理由
上目黒住区グリーンクラブ	長年にわたり、祐天寺駅前ロータリーで積極的に花壇の維持管理を行い、良好な景観を維持するとともに、みどりを守り育てることに尽力した。
特定非営利活動法人 菅刈ネット21	長年にわたり、菅刈公園の保全と活性化に寄与するとともに、青少年の育成に取り組み、みどりを守り育て、環境をはぐくむ人づくりに貢献した。
碑文谷公園クラブ	長年にわたり、碑文谷公園で清掃活動や花壇の維持管理を行うとともに、桜フェスティバルの開催を通して青少年の育成に取り組み、みどりを守り育て、環境をはぐくむ人づくりに貢献した。

2014(平成26)年度に実施する主な施策の内容

- ◇ 「エコまつりめぐろ2014」の開催について企画・準備段階から環境にやさしいイベントになるよう助言、支援を行います。
- ◇ 環境配慮活動を行う団体のネットワーク形成を支援し、登録数、協力団体の拡大に努めます。
- ◇ 地域団体との連携、支援事業、地域活動協力者の養成を図ります。
- ◇ 環境負荷の低減や環境保全のために顕著な取組みを行っている区民、事業者及び団体等を顕彰し、地域における環境保全の取組み意欲を高め、環境と共生するまちづくりの推進を図ります。

トピックス

エコライフめぐろ推進協会とは…

1995(平成7)年、区民と行政が連携してリサイクルを推進する組織として「リサイクルめぐろ推進協会」が設立されました。その後、2005(平成17)年に環境全般に亘る事業を行う「エコライフめぐろ推進協会」へと改名し、環境問題に関する情報の普及・啓発や環境活動をする区民や区内事業者の支援を行っています。2006(平成18)年には、区の指定管理者となり、エコプラザの管理運営も行っています。

今後は、環境問題に積極的に関心を持つ人たちだけでなく、一人でも多くの区民に環境にやさしいライフスタイルに関心を持ってもらい、様々な立場の人たちがつながっていけるネットワーク作りの拠点となる役割も期待されています。

WEB

<http://park15.wakwak.com/~meguro.3r/>

3-2-2 区民・事業者・区のパートナーシップの構築

《 区民・団体・事業者のパートナーシップによる環境施策の推進 》

協働による環境保全活動の推進に向けて、環境審議会を4回開催し、目黒区地球温暖化対策地域推進計画の改定や目黒区環境学習推進計画の改定などについて検討を行いました。

また、区民や事業者などが参加し、地球温暖化対策について話し合う場となる地球温暖化対策地域協議会を5回開催しました。協議会の中では、地球温暖化対策地域推進計画の改定について検討するとともに、計画の進捗状況を確認し、目標に向けた効果的な取組みについて検討しました。また、2013(平成25)年7月1日からは、第7期環境審議会委員が任命されました。

＜環境審議会の開催内容＞

回・開催日	主な議題・報告事項
第1回 2013(平成25)年 6月24日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 目黒区環境審議会小委員会での検討について 2. 目黒区環境審議会専門委員会の設置について 3. 目黒区地球温暖化対策地域推進計画の改定について 4. 目黒区地球温暖化対策推進実行計画(めぐろエコ・プラン)の改定について
第2回 2013(平成25)年 7月23日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 目黒区の生物多様性地域戦略の中間のまとめ(案)について 2. 環境審議会専門委員会の委員選出について 3. エコプラザ見直し(平町エコプラザの廃止)について
第3回 2013(平成25)年 12月2日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 目黒区環境学習推進計画の改定(目黒区環境学習実行プラン素案(案))について 2. 目黒区地球温暖化対策地域推進計画改定素案について 3. ささえあう^{いのち}生命の輪 ^わ野鳥のすめるまちづくり計画の素案について
第4回 2014(平成26)年 3月26日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 目黒区環境学習実行プラン改定案について 2. 目黒区地球温暖化対策推進実行計画(めぐろエコ・プラン)改定(案)について 3. 目黒区地球温暖化対策地域推進計画改定案について 4. 目黒区生物多様性地域戦略について

2014(平成26)年度に実施する主な施策の内容

- ◇ 環境審議会や地球温暖化対策地域協議会を開催します。
- ◇ 「目黒区地球温暖化対策地域推進計画(第二次計画)」に基づき、二酸化炭素排出量やエネルギー使用量の削減に向けた取組みを推進します。

トピックス

目黒区環境審議会とは…

2000(平成12)年12月に制定した「目黒区環境基本条例」第22条に基づき、区における環境の保全に関して必要なことを調査審議するためにおかれた区長の付属機関です。

環境基本計画に関することや環境の保全に関する基本的なことを話し合います。本会議は公開されており傍聴できます。また、会議録を目黒区のホームページでご覧いただくこともできます。

また、審議の効率的な運営を図るために小委員会を、専門的知識を必要とする議題を審議するために専門委員会を設置することがあります。

WEB

https://www.city.meguro.tokyo.jp/gyosei/keikaku/torikumi/shizen/kankyo_shingikai/index.html

トップページ>行政情報>計画・政策>目黒区の取り組み>自然・環境への取り組み
>環境審議会

トピックス

地球温暖化対策地域協議会とは…

区民、事業者、地域団体、学校、区など、幅広い分野の代表者がメンバーとなり、2006(平成18)年12月に設立されました。2007(平成19)年度に「地球温暖化防止目黒行動宣言」を実施したほか、2008(平成20)年3月末策定の「目黒区地球温暖化対策地域推進計画」の改定について検討しました。今後も、地域が一体となって地球温暖化防止の取組みを進めるため、さまざまな啓発活動を行っていきます。

WEB

https://www.city.meguro.tokyo.jp/kurashi/shizen/mondai/ondanka_taisaku/ondanka_kyougikai.html

トップページ>くらしのガイド>自然・環境・ごみ>環境保全施策の推進>地球温暖化対策
>地球温暖化対策地域協議会

3-2-3 地域を越えた広域的な連携

《 他地域との連携による取組みの推進 》

「めぐろエコの森」は、地球温暖化対策におけるカーボン・オフセット²¹を展望した事業の一つとして、2010(平成22)年度に友好都市である宮城県角田市の四方山の一角に創設しました。

2013(平成25)年度は、めぐろエコの森に植樹した樹木を生育させるために、生育の支障となる下草等の刈り払いを2回行いました。



<めぐろエコの森全景>

2014(平成26)年度に実施する主な施策の内容

◇ めぐろエコの森に植樹した樹木を生育させるために、下刈作業を行います。

²¹ カーボン・オフセット：自らの温室効果ガス排出量を認識し、削減努力を行い、どうしても削減できない排出量をほかの場所での排出削減・吸収量等を購入すること又は活動等を実施することにより、その排出量の全部または一部を埋め合わせること。